

タル諸病原菌ハ之ニ發育シテ嚙下サレ諸病ノ因ヲナスコト少シトセズ、淋巴腺結核ノ七〇%ハ齶齒ニ由來スルモノナリト云フ。其他、上顎竇、眼、耳等ノ疾患ヲ誘起スルコトアリ。サレバ七八歳ノ頃ヨリ二十歳ニ至ル間即チ最モ齶齒ヲ起シ易キ時代ノ者ニハ十分ナル豫防法ヲ行ハザルベカラズ、然ルニ現代小學校兒童ノ好ンデ過剰ノ含水炭素ヲ取ルニカ、ハラズ其衛生思想ノ缺損セルハ憂フベキコト、云フベシ。

第三回總會記事

大正六年三月三日(土)午後一時より講堂に於て總會を開く本日の講演次の如し。

一、報告(其一)	文科一部四年	(阿部よしお 佐治きぬ 廣田てい)
二、報告(其二)	文科二部四年	神つや
三、我國に於ける動物學の現況	理科二部四年	松本うら
四、學校に於ける裁縫教授の價值	技藝科一部四年	(大日方みつ 阿部すて 青野じう)
五、教育に於ける趣味の問題	技藝科二部四年	(金子きぬ 佐藤ふじ 三村淺代)

本日出席せられし客員及賛助員等次の如し。

中川校長	岩川教授	森教授
平田教授	下村教授	川上教授
下村教授	土屋教授	西村教授
近藤教授	内海教授	垣内教授
北澤訓導	後閑教授	春田教授
神田教授	藤卷囑託	江澤駒路
星キイ	竹田ミチ	坪内スエ
安井トク	豊田ヨシ	光雪枝

の諸氏

理科部報告

1. 會員數	347 ^人
{ 會員(在校生)	106 ^人
{ 賛助員(卒業生)	322 ^人
{ 客員	9 ^人
2. 會ノ仕事	
講演	3 ^回
雜誌發行數	3 ^回
3. 會費	
收支計算	
入之部	524.770 ^円
{ 前年度繰越高	357.010 ^円
{ 會費	122.160 ^円
{ 雜誌代實費(在學生)	40.630 ^円
{ 利子	4.970 ^円

出之部	234.170 ^円	
内譯	會報印刷費	201.730 ^円
	同發送費	19.620
	振替貯金料金	0.640
	雜費	12.180
次年度ニ繰越高	260.600 ^円	
所在	郵便貯金	244.800 ^円
	振替貯金	34.190
	同基本金	10.000
	現金	1.610
未納者數	169 ^人	金高 208 ^円

討 論

理科教授法

呈出者 江澤 駒 治

女學校程度にて理科を教授するに當りて或種の事項は其理論の高尙なるため如何なる程度まで説明を加へてよきか又如何なる方法を用ひなば適當なるべきかにつきて教授上種々の困難を感ずること屢々有之候之について多數の人々の意見を徴し候はゞ参考に資すること少からざるべしと存候今一例として次の一の問題を呈出致候。

レンズにて生ずる物體の像の教授法。

1. 全實驗に基きて實物と像との關係を充分了解せしめ何等幾何學的作圖を必要とせざる方法。

2. 實驗に重きを置くは勿論なれども尙幾何學的作圖を用ひて其了解を助けんとする方法。

上の兩者に就きてそれぞれ教授せられつゝある實際を次の方法にて御回答下され度候。

1. いづれの方法をとらるゝか。
2. 兩者の得失は如何。
 - (A) 教授の難易。
 - (B) 生徒の理解の難易。
 - (C) 生徒の興味の多少。
3. 期限は大正六年五月末日迄。

增加圖書目錄第廿二回大正自五年十二月
至六年一月

●印は寄贈

一、哲學(宗教、理)

●新運命觀	祖先教本部	一	圖	書	室
文明論之概要	福澤諭吉	一	明	治	記
法華經の行者日蓮	姉崎正治	一	圖	書	室
古代より現代まで西洋哲學史	若守義孝譯	一	同		
明治大正 勸諭集	高木斐川	一	同		
●勸諭達原衍義	物集高見	一	同		
明治孝節錄	近藤芳樹	一	明	治	記
日本國粹 全書 第四輯		一	修	教	室
同 第十八輯		一	同		
重蒙をいへ草	福澤諭吉	五	明	治	記

二、教育(教育論理心理社會)

●列強の少年義勇團	文部省	一	圖	書	室
●學校と戦争	同	一	同		
靈魂信仰と祖先崇拜	桑田芳藏	一	小	學	校